

市のこれからの取り組み

○全市一斉マイバッグ週間～ごみゼロキャンペーン～

ごみの発生抑制を目指して、平成23年5月30日(月)から6月5日(日)までを全市一斉マイバッグ週間とします。この期間に、左下のステッカー掲示の店でマイバッグを持参して買物すると、右下の水切りネットロールを差し上げます。



その他の取り組み

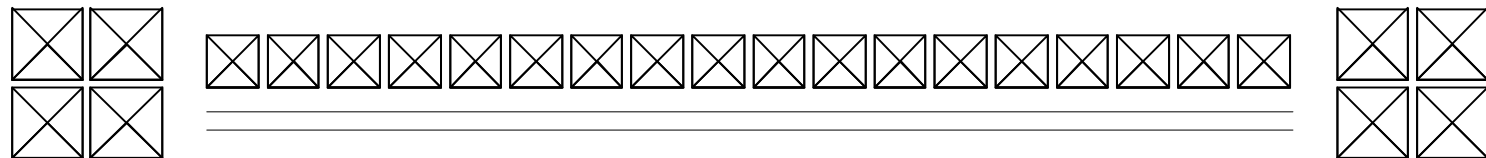
○生ごみ対策(生ごみ処理機器・たい肥化容器購入費補助、ベランダたい肥づくり、水切りネットロールの配布) ○小規模集合住宅対策(ごみの分別診断・指導) ○ごみ減量・リサイクル推進委員会(3R推進施策の検討、施策の進行管理) ○啓発用印刷物の作成・配布等(転入者用の「資源とごみの分別ハンドブック」の作成、「西砂からの風」の発行、ごみ減量協力員FAXレポートまとめの作成・配布)

～編集後記～

創刊から4か月を経て、3号目を発行することができました。

読んでいただいた方々からは、多くのうれしい感想が寄せられています。さらに、発行部数の増や発行周期の短縮を望まれるご意見もいただいております。発行する者としては、大変うれしい限りですが、増発や編集期間の圧縮のことを考えると、いささか不安も感じてしまいます。何はともあれ、これからも引き続き、「西砂からの風」にのせて、ごみの発生抑制・再利用・再生利用(3R)に関する情報を皆さんにお届けしたいと思います。今後の紙面づくりに活かしてまいりますので、ぜひ、ご感想をお寄せください。

立川市環境下水道部ごみ対策課 ☎531-5518



みんなで減らそう 燃やせるごみ減量50%!

西砂からの風

2011年2・3月号
(第3号)

ごみの分別にご協力いただきありがとうございます!!

立川市は、多摩地域26市の燃やせるごみの量(市民一人あたり)の中で、8年連続で最も多く、清掃工場の焼却施設も老朽化が進み、清掃工場の移転先も決まっていません。そのため、燃やせるごみの減量が最重要課題となっています。

平成22年4～12月の家庭から出された燃やせるごみの量は、下のグラフのとおりです。燃やせるごみは、前年度比で約6%に相当する約1,330トンの減少となっています。

また、燃やせるごみの減量につながる紙・布資源は、前年度比で約30%の約900トン増加し、せん定枝は前年度の約5.5倍の約330トンになっています。

これらの成果は、燃やせるごみの減量と紙・布資源やせん定枝の分別にご協力いただいた市民の皆さんのおかげです。市は、より一層のごみの減量と資源の分別収集・再資源化に取り組みますので、さらなるご協力をお願いします。

